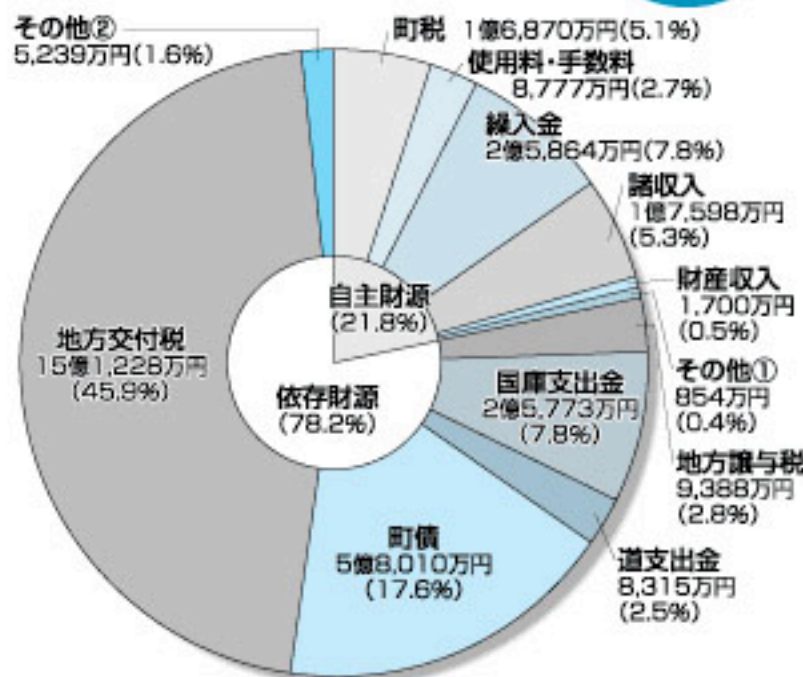


平成18年度 まちの予算

中川町の18年度予算が、町議会第1回定例会で可決され、一般会計と5つの特別会計が執行されています。町の予算は、その1年間の収入と支出の見込みでつくられていて、収入を「歳入」支出を「歳出」といいます。今年1年間、どのような仕事を計画して、それを実行するためにどのくらいお金が必要なのか、さらにそれをどう工面するのか、といった計画が「まちの予算」になります。中川町の今年の予算について、お知らせします。

32億9,616万円 歳入



【歳入の用語説明】

町税	町税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税
地方交付税	町の財政状況に応じて国から交付される
国庫支出金	特定の事業に対する国からの補助金や負担金、委託金
道支出金	特定の事業に対する道からの補助金や負担金、委託金
財産収入	町有地等の貸付収入や財産売却収入等
繰入金	町の基金（貯金）から一般会計への繰入金
諸収入	貸付金収入や各種検診の受診料等
町債	公共事業を行う際に借り入れる長期借入金等
その他①	繰越金や分担金及負担金など
その他②	地方消費税交付金や自動車取得税交付金など

【用語解説】

■地方譲与税
自動車重量税や地方道路税などのうち、一定額を国が地方に譲与しているお金

簡易水道事業 特別会計

予算額 1億4,785万円

清潔な水道水を家庭に提供できるよう機器の整備や浄水場の管理をしています。おもに水道料金などの料金収入と一般会計からの繰入で運営しています。

老人保健 特別会計

予算額 2億1,767万円

おもに70歳以上の方に対する医療費が支払われます。この老人保健には国民健康保険や健康保険からもお金が入っていて、若い世代の皆さんも医療費を負担しています。

農業集落排水事業 特別会計

予算額 2億4,710万円

中川地区の家庭や事業所から出る汚水を処理場で浄化処理しています。今年は、佐久地区の下水処理整備に向けて実施設計を行います。

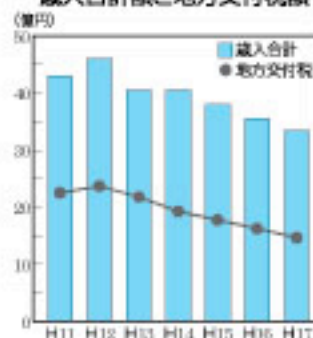
国と地方の税財政改革いわゆる三位一体改革が進む中で、中川町も大変厳しい財政状況にあります。平成18年度予算につきましても、前年に引き続き、限られた税財源を効率的に活用すべく編成しました。

一般会計予算は32億9,616万円で、平成17年度当初予算(35億4,418万円)に比べ、2億4,802万円の減額となり、5つの特別会計を含めた総額でも42億2,571万円で、平成17年度当初予算(45億1,844万円)に比べ、2億9,273万円の減額となりました。

※三位一体改革とは？

国は、さまざまな行政サービスについて、国が決定するのではなく、都道府県や住民に身近な存在である市町村が決定する地方分権を実現するために、(1)国から地方へ支出される補助金(国庫補助及び負担金)を削減すること。(2)国から地方への税源移譲。(国と地方で徴収する税金の割合を見直すこと) (3)地方交付税(国から市町村へ配分されるお金)を見直すこと。この3つに取り組んでいます。この3つの改革に同時に取り組むことを三位一体改革といいます。

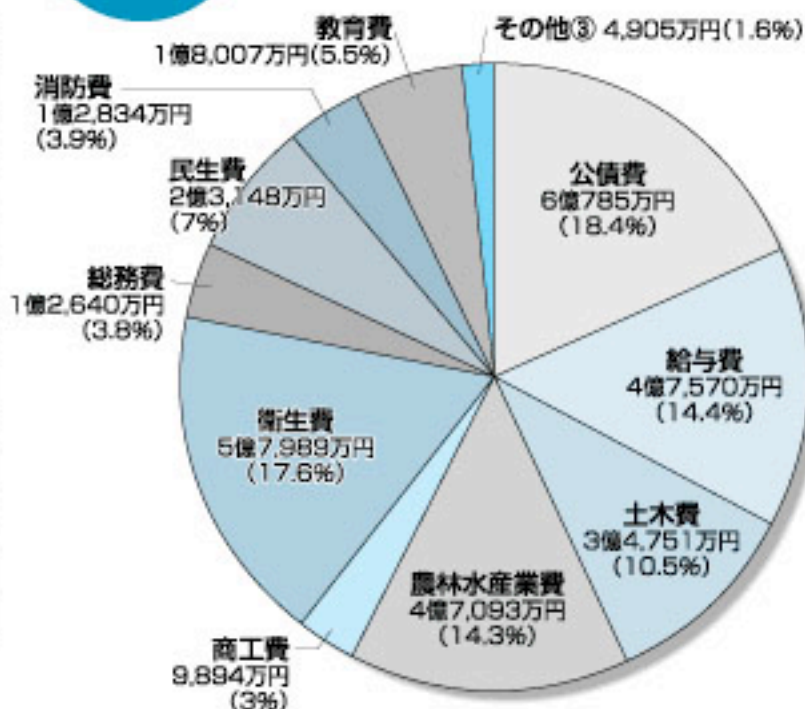
歳入合計額と地方交付税額



歳出 一般会計 予算額

【歳出の用語説明】

総務費	町有財産管理、広報紙の発行、住民バス運行、職員研修等に要する経費
民生費	高齢者、児童等の福祉や保育所運営等に係る経費
衛生費	健診等の保健予防やごみ処理等の環境衛生に係る経費
労働費	勤労者支援等に係る経費
農林水産業費	農林水産業振興に係る経費
商工費	商工業振興、観光振興等に係る経費
土木費	町道、町営住宅等の管理及び新設、改修に係る経費
消防費	中川消防支署の運営等に係る経費
教育費	学校教育や青少年育成及び文化、スポーツの振興に係る経費
公債費	これまでに借り入れた、長期借入金返済等に係る経費
給与費	町職員の給料及び手当等
その他③	議会費、労働費など



特別会計

特別会計とは、町が特定の事業を行う際、一般会計とは別に目的に応じた予算を独立して運営しているものです。

介護保険 特別会計

予算額 8,226万円

介護が必要な高齢者に介護サービスを提供する事業を行うための会計です。保険料や国からの補助金、一般会計からの繰入で運営しています。

国民健康保険 特別会計

予算額 2億3,467万円

自営業の方などが加入する健康保険で、ここからは主に、個人負担以外の医療費が、それぞれにかかった医療機関に支払われます。

前のページでは、歳入・歳出など総体的な町の予算について説明してきました。ここからは、執行方針に基づき次の5つの分野に分けて住民の皆さんに特に身近な仕事について、説明します。

分野1 暮らしやすさを実感するまちづくり(保健・福祉・医療・生活環境に関する事業)

障がい者福祉計画策定事業 **新規**

予算額 100万円

担当 幸福推進室

身体・知的・精神に障害をもつ方に総合的にサービスを提供するための計画を策定します。

社会福祉協議会運営費補助

予算額 694万円

担当 幸福推進室

「地域福祉活動の推進」「ボランティア活動の推進」「地域在宅福祉対策の推進」など社会福祉協議会独自の活動を支援するため、事務局職員の人件費を補助します。

在宅介護支援センター運営事業

予算額 948万円

担当 幸福推進室

福祉や介護サービスの総合窓口として「在宅介護支援センター」を社会福祉協議会に委託し、運営しています。

介護予防・生活支援事業

予算額 1,203万円

担当 幸福推進室

高齢者の健康増進や要介護状態の悪化を予防するためなどを目的に、①配食サービス②外出支援サービス③生きがい活動支援通所④軽度生活支援⑤生活管理指導短期宿泊⑥家族介護支援⑦高齢者食生活改善⑧運動指導などの事業を行なっています。

介護保険低所得者利用負担特別対策事業

予算額 〇万円

担当 幸福推進室

介護保険制度の「訪問介護」と「通所介護」の利用について、その利用の1割を所得要件により減免しています。

子育て支援センター運営事業

予算額 35万円

担当 幸福推進室

子育て支援センター「まめちょ」では、育児不安への相談指導、子育てサークルの育成支援、特別保育事業の普及など、家庭的保育をされている方の支援を行なっています。

各種施設ほか障がい者支援費

予算額 6,225万円

担当 幸福推進室

身体障がい者や、知的障がい者の方を対象に、療養施設や訓練施設の支援費、医療費の助成などの支援を行なっています。

保育所運営費

予算額 1,709万円

担当 幸福推進室

中川保育所の運営費として、臨時保育士・臨時調理員の賃金のほか、教材費や光熱水費等の維持管理費などです。

健康づくり事業費

予算額 1,158万円

担当 幸福推進室

一般市民や乳幼児などの健康診断、予防接種のほか、健康相談、訪問指導、健康教室などを行ないます。生涯を通じた健康の自己管理をお手伝いし、健康づくりや病気の予防を推進します。

診療所費

予算額 3億8,719万円

担当 幸福推進室

町立診療所と町立歯科診療所の施設維持管理費や、電算システムのリース料、医療法人への運営費助成などを行なっています。また、町立診療所の移転改築を行ないます。

食育の推進 **新規**

予算額 10万円

担当 幸福推進室

乳幼児から高齢者まで、食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現することによって、町民の皆様の心身の健康保持増進を図ります。そのため今年度は、中川町食育推進計画を策定します。

貯筋体操教室 **新規**

予算額 100万円

担当 幸福推進室

高齢期の健康と生活機能を維持し、住みながら家で長く生活できるように、運動機能の維持または向上のために、各地区で筋力アップを目的に体操教室を行ないます。

国府中央地区道営畑地帯総合整備事業

予算額 6,242万円

担当 環境整備室

国府、大富、菅地区の水道施設整備を行い、安全で安定した飲料用水を提供できるようにする事業です。今年度は、浄水場施設と配水管路の一部を工事します。

佐久地区農業集落排水水資源循環統合補助事業

予算額 1億6,090万円

担当 環境整備室

佐久市街地の下水道整備を平成18年度に着工し、平成20年度の完成を予定しています。

公営住宅ストック総合改善事業

予算額 1,410万円

担当 環境整備室

公営住宅の計画的な営繕事業です。最終年度で中央団地の木サッシ改修を行ないます。(6棟12戸)

放課後児童保育事業

新規

予算額 61万円

担当 幸福推進室

小学校に就学している1年生から3年生までの児童の健全な育成を図るため、放課後の一定時間、適切なあそびと生活の場を提供します。

マイホーム建設促進事業

予算額 500万円

担当 企画室

町内に定住することを目的に、住宅を建築または購入された方に助成を行ないます。助成には要件がありますので、予定される方は事前にご相談ください。

分野2 豊かさとうるおいを実感するまちづくり(土地利用、道路等の基盤整備、産業に関する事業)

町営牧場運営費

予算額 2,471万円

担当 産業振興室

5月から10月までの期間、町内の酪農家から乳牛を預かり、酪農の省力化や効率化などの支援を行ないます。運営費のうち約1,145万円を預託料収入として見込んでいます。

畑作振興費

予算額 600万円

担当 産業振興室

土づくりを推進するため地域内で生産される良質なたい肥の循環を支援するほか、サヤエンドウを重点にハウス施設を導入する農家を支援します。

中山間地域等直接支払制度事業

予算額 2,317万円

担当 産業振興室

耕作放棄地の発生防止や、農業生産活動の体制整備などを目的に、草地所有者等に10アールあたり1200円を交付する国制度です。本町では、交付額の2分の1以上を集落で実施する共同取組活動として酪農ヘルパー事業や乳牛検定事業などの活動費や輪作体系確立事業、畑地PH回復事業等の土づくり事業に充てています。

新規就農者誘致事業

予算額 556万円

担当 産業振興室

新規就農者誘致特別措置条例に基づき、対象農家に農場リース料の助成、経営自立安定への補助、経営安定子補給等を行ないます。

林業振興費

予算額 2,200万円

担当 産業振興室

私有林の適正管理を推進するため、21世紀の森づくり推進事業(1,080万円)、人工造林推進事業(280万円)、森林整備地域活動支援交付金(910万円)などの事業を取り組めます。これらの事業により、本年度は新植4ha、下刈り26haの整備が行われるものと見込んでいます。

農業振興資金融資事業

予算額 1億1,000万円

担当 産業振興室

J A北はるかに貸付金の預託を行い、町内農林業者の経営安定に必要な資金を融資します。

町有林整備事業

予算額 3,730万円

担当 産業振興室

町では現在約195haの町有林を所有しています。適正な維持管理を行い、資産価値を維持することはもちろん、地球温暖化防止といった観点からも計画的な整備を行っています。今年度は人工造林12.5ha、下刈り125.3ha、除間伐26.2haの事業を行ないます。

商工会運営費補助

予算額 1,337万円

担当 産業振興室

商業活動の発展を図るため、商工業経営の指導機関である商工会の運営費を補助します。

企業振興促進事業

予算額 1,221万円

担当 産業振興室

町内の中小企業の育成を促進するための事業で、工場、ソフトウェア産業又は試験研究施設を新設または増設する企業に助成する内容です。平成18年度まで。

中小企業融資事業

予算額 2,000万円

担当 産業振興室

名寄信用金庫中川支店に貸付金の預託を行い、町内中小企業の育成のため、事業運営の基礎となる必要な資金を融資します。

起業化促進事業

予算額 306万円

担当 産業振興室

町内に拠点を置いて、新たに創業、開業をする個人や企業を支援する事業です。補助金や融資のあっせん、利子補給などを行いません。申請には事前協議が必要となりますので、担当室までご相談ください。

勤労者住宅建設・生活資金貸付事業

予算額 1,500万円

担当 企画室

北海道労働金庫に貸付金の預託を行い、町内勤労者の住生活の安定に必要な資金を融資します。

中川町観光協会運営費補助

予算額 735万円

担当 産業振興室

町外からの集客や町民が楽しめる場を創造されるよう、各種イベントの企画実施を行なう観光協会に運営費を補助します。

天塩川 春・発信 inなかがわ運営費補助

予算額 90万円

担当 産業振興室

北海道遺産にも認定された天塩川を舞台にしたイベント「天塩川 春・発信 inなかがわ」。中川町の地域イメージの向上と経済の活性化につながるこのイベントを引き続き支援します。

ポンピラアクアリズイング運営事業

予算額 1,560万円

担当 産業振興室

平成18年4月から指定管理者制度により管理運営することになりました。更なるサービスの向上と効率的な運営を達成できるよう指定管理者と連携を図り、町民福祉の増進及び道内外の人々との交流促進等、施設の目的が最大限に発揮されるよう努めます。

ナポートパーク運営事業

予算額 475万円

担当 産業振興室

平成18年4月から町が直接運営します。天塩川流域をウォータースポーツのフィールドとして、特色ある地域文化の創造と活性化に努めます。

地場産品加工センター運営事業

予算額 22万円

担当 産業振興室

平成18年4月から指定管理者制度により管理運営することになりました。更なるサービスの向上と効率的な運営を達成できるよう指定管理者と連携を図り、新たな特産品の開発等、施設の目的が最大限に発揮されるよう努めます。

道の駅運営事業

予算額 758万円

担当 産業振興室

平成18年4月から指定管理者制度により管理運営することになりました。更なるサービスの向上と効率的な運営を達成できるよう指定管理者と連携を図り、観光資源の紹介、情報の提供等、施設の目的が最大限に発揮されるよう努めます。

道路整備事業

予算額 2億1,370万円

担当 環境整備室

歩行者や自動車に安全な道路環境を提供するため、歌内国府本線道路改良、舊国道線道路改良を行います。

農道整備事業

予算額 6,000万円

担当 環境整備室

大富南地区道営農道整備特別対策事業では、国道との交差点から排水機場までの間を、平成16年度から19年度までの4カ年で整備する予定です。今年度は、橋の上部工と道路改良を行います。

町道除雪事業

予算額 6,828万円

担当 環境整備室

交通、歩行の安全確保のため、町道の道路や歩道の除雪作業、排雪作業を行います。

分野3 すばらしい自然を実感するまちづくり(自然の保全と利用、廃棄物処理、景観に関する事業)

西天北5町衛生施設組合ごみ処理負担金

予算額 5,211万円

担当 住民サービス室

西天北5町衛生施設組合で実施している一般廃棄物処理にかかる経費を5町で負担します。

西天北5町衛生施設組合し尿処理負担金

予算額 3,931万円

担当 住民サービス室

西天北5町衛生施設組合で実施しているし尿処理にかかる経費を5町で負担します。

分野4 中川らしい楽しみを実感するまちづくり(生涯学習・スポーツ、学校教育、文化に関する事業)

中川村交流派遣事業

予算額 262万円

担当 教育委員会

昭和55年度に長野県中川村と姉妹町村提携をしています。本年度も中川中学校2年生を対象として、派遣を行い、両町村の更なる交流を深めます。

中川商業高校振興対策協議会助成

予算額 480万円

担当 教育委員会

就学資金、通学費援助、下宿代補助、教育環境整備、生徒募集対策。

語学指導助手招致事業

予算額 527万円

担当 教育委員会

町内の小・中学校および高校の外国語教育の充実を図るとともに、地域での活動を通じて外国人との交流を深め、相互理解、地域の国際感覚を高めることを目的に語学指導助手を配置しています。

エコミュージアムセンター施設運営費

予算額 98万円

担当 教育委員会

自然博物館特別展示や森の学校(夏・冬・ジュニア版)、地層観察教室などの普及事業、宿泊施設を利用した体験学習を行い、地域の特性・財産を活用した「ふるさと学習」に取り組みます。

短歌フェスティバル事業

予算額 131万円

担当 教育委員会

本町に残る齊藤茂吉の文学的史跡を後世に伝える目的で、昭和59年10月に齊藤茂吉米町記念歌碑を建立。その文化を育み、短歌の発展向上に貢献することを目的に、全国の短歌愛好者から短歌を募集し当事業を開催しています。今年で13回を数えます。

高齢者学級ポンピラ塾運営事業

予算額 10万円

担当 教育委員会

町内に在住する65歳以上の高齢者に、学習活動とおして生きがいや学習成果を高めながら自己実現を図る機会を提供しています。

わいわい交流事業

担当 教育委員会

小さな子どもから高齢者、家族や友達同士など、参加はさまざまですが、軽スポーツ、ゲーム、文化活動などを通じて世代を越えた交流により、人と人の絆を広める機会を設けています。

ふるさと学習プロジェクト事業

予算額 262万円

担当 教育委員会

地域の自然・歴史と人々の知恵や技術などから「ふるさと中川」を学び、「生きる力」を養うとともに、ふるさと中川の魅力を発見・再認識すること、ふるさとへの愛着や誇りを醸成することを目的に、幼稚園から高校までそれぞれの教育段階に応じた学習活動に取り組みます。

分野5 誇らかな町を実感するまちづくり(住民参画、交流、行政改革に関する事業)

広報紙なかかわの発行

予算額 284万円

担当 企画室

行政からの情報や地域の課題を住民と共有できる方法のひとつとして、わかりやすい広報紙を発行します。

行政改革推進事業

予算額 200万円

担当 企画室

小さな地方自治体(市町村)にとって、厳しい財政状況が続く中、適切な行政サービスを提供し続けるため、行政改革大綱に基づき、平成17年度から取り組んでいます。行革推進委員会の検討内容を踏まえ、引き続き行政改革に取り組めます。